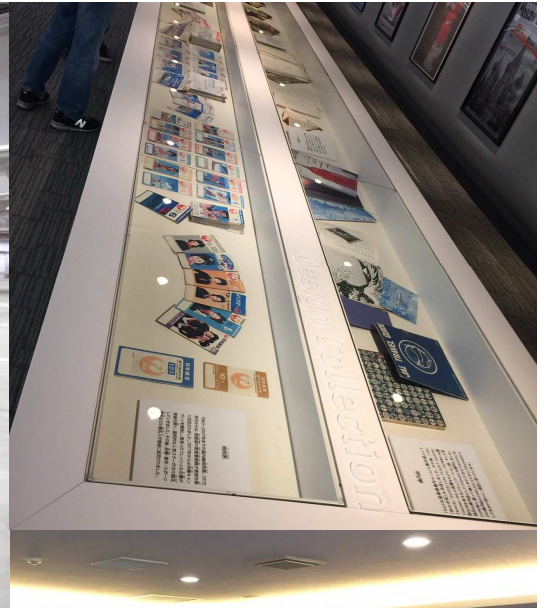


# JAL 工場見学 SKY MUSEUM ツアー報告書

訪問日時:2016年12月9日(金) 15:30~17:30

参加者:大阪大学赤井伸郎ゼミ15名(2・3・4年・OB/OG)+引率教員1名



赤井伸郎ゼミの授業の現場編として、JAL 工場見学 SKY MUSEUM ツアーを実施した。

## スケジュール

○15 : 35

### モルレル新整備場駅 改札口ご集合

改札口は1つです。徒歩にてM1ビルに向かいます。(約2分)

○15 : 45~16 : 15

### SKY MUSEUM内教室にてご説明

当日の簡単な注意事項ならびに撮影いただきました写真類についてのご利用に関するお願い事項をご案内ののち、「航空教室」を開催します。

○16 : 15~16 : 30

### SKY MUSEUM見学

JALの歴史や飛行機に関する仕事についての展示をご覧ください。制服着用体験コーナーもございます。

○16 : 30~17 : 20

### 整備工場見学会

ヘルメットご着装の上、M1~M2工場内をご案内いたします。なお、当日の運航状況により機材の駐機状況が変わりますが、飛行機を間近でご覧いただく予定です。

○17 : 20~17:30

### 見学終了

ご見学終了後、再度教室にご案内いたします。質疑応答の時間を設けたいと思います。

2016年12月、日本の空を支える航空産業および機体整備の実態を学ぶための視察として、JAL 工場見学 SKY MUSEUM ツアーを実施した。見学した羽田空港は、日本の空を支える拠点である。日本の拠点であるだけでなく、多くの海外都市とも結ばれる世界の拠点ともなっている。過密なスケジュールの中、多くの航空機がスケジュールどおりに運航されるためには、緻密な計画と整備が欠かせない。本ツアーでは、まず、SKY MUSEUM で、JAL の歴史および安全運航・効率的な運航のノウハウを学ぶとともに、実際に、工場（機体格納庫・整備場）も訪問し、機体を間近に見ることで、航空機技術の最先端に触れることもできた。航空機産業は、日本国内および日本と海外を結ぶインフラでもある。今後、このインフラをどの様に育成していくのか、学生が考えるきっかけになったと思う。この視察の経験を、今後活かして欲しい。実施後のアンケートでは、参加学生ほぼ全員が大満足との回答をした。以下に、学生の感想をまとめる。

1	SKYMU SEUM内 教室説明 について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室においての説明では、ムービーを使って実際にJALでの勤務に従事している人がどのような仕事を行っているのかがわかり、参考になった。全体的に子供でもわかりやすいように作られていることもあり、飽きることなく楽しめた。</li> <li>・クイズは少し難しかったですが楽しめました。飛行機は、旅行の際など結構使わせてもらってるので、もっと深く知りたいと思うようになりました。</li> <li>・普段何気なく乗っている飛行機の種類であったり、羽の大きさなどについて詳しいお話を伺うことが出来たのがよかった。席数などが2パターンあることには気づいていたが、国内線・国際線で分けていたとは知らず、勉強になることが多かった。</li> <li>・とても有意義だった。旅客機は種類によって大きさくらいしか違いがないと思っていたが様々な特徴と知ることができた。</li> <li>・飛行機の重量比についてや、飛行高度について、国内線と国際線の機体の違いなどなど、意外と知らない飛行機の基本情報について学ぶことが出来て興味深かったです。座席のクラスやサービスについてなど、乗客側から見た飛行機の豆知識ももっと知りたいなと思いました。</li> <li>・今回のJALの見学は、以前よりずっと行きたいと思っていたものであったので、全体を通して大変充実した視察になったと思う。飛行機は、自分にとっては電車やバスなどと比べて利用頻度は少ないものの、必要不可欠なインフラであり、普段はあまり意識しないインフラの適切な維持管理や経営の重要性を再認識した。</li> <li>・飛行機のことについて、知らないことを多く知れたことはよかった。飛行機は移動手段としてしか見ていなかったが、改めてその面白さをした。</li> <li>・広報担当の方の説明がとても分かりやすく、多くの知識を持っておられたため聞いてとても参考になった。飛行機見学に向けての事前知識を蓄えることが出来て非常に良かった。</li> <li>・プレゼンテーションの仕方がとても上手で、引き込まれました。また、飛行機についての知っているようで知らない細かい知識なども教えていただき、ためになりました。</li> <li>・教室説明では、クイズも交えながら、飛行機の知識が乏しい我々にもわかるように説明してくださり、非常にありがたかったです。教室説明があったことで、後の展示場見学で内容がよく入ってきた気がします。</li> <li>・飛行機ができるまでの動画が特に興味深かった。赤井ゼミのみの教室だったので気軽に聞くことができた。</li> </ul>
---	-----------------------	---

2

SKYMU  
SEUM見  
学につ  
いて

- ・ミュージアム内は貴重な過去の資料や、ビジネスクラスの座席の体験、制服試着など豊富なコンテンツがありながらもコンパクトにまとまった会場は、子供が迷子になる心配もなく家族連れの参加がしやすそうだなと思った。人気の工場見学で一位になるのも納得だった。個人的には創設から現在までの年表が充実していて好きだった。
- ・機内食やキャビンアテンドの制服の紹介など時代の流れとともに知ることができてよかったです。中でも、特にビジネスクラスのシートの体験が印象に残っていて、我が家にも一つほしいと思いました。
- ・様々な展示があり、勉強になった。昔の搭乗券など、なかなか目にする機会のないものを見たり、操縦席の内装を目にすることができるなど、時間が足りないと感じるほどに充実していた。
- ・JALのCAの服装はバイト先でよくみかけていたが、その変遷を見ることができて面白かった。
- ・機長、CAの衣装や操縦室の再現、離着陸を誘導するサインなど、体験コーナーが手軽に楽しめる内容で充実しており、もっと長く楽しめたかったです。CAの制服の変遷や機内でのサービスの歴史など、飛行機が今ほどカジュアルでなかった時代の展示物が面白かったです。
- ・展示場では、写真や実物を見ることができ、当時の時代背景や状況がとてもよくわかりました。また、ゲームもあり、子供でも楽しみながら学べる環境であると感じました。
- ・普段飛行機を利用するときには、国際的に活躍する「華やかな現場」としての航空産業の側面しか目にしていないが、今回のSKYMUSEUM見学では「生の現場」の側面を見ることができた。当然のことではあるが、人の命を預かる仕事であるから、華やかな表面とは裏腹に、実際の現場では厳しいルールやマナーによって業務が動いていることがよくわかった。
- ・コックピットや、ビジネスクラスのシートに座ることができて、非常に貴重な経験ができてとてもよかったです。
- ・ビジネスクラスの椅子や操縦室のレプリカを見れたことがとても印象的だった。
- ・過去のチケットやお土産などの展示があり、とても歴史のある企業だということを実感しました。実際に座席を体験できたり、制服を着用出来たり、ただの展示だけでないところもよかったです。
- ・飛行機内部の裏側や、コックピットの模型があり面白かった。また、CAの制服を着れる貴重な体験ができた。

## 3

## 格納庫・整備場見学について

- ・今回、最大級の飛行機が格納庫にはいるということで、非常に幸運だった。かなり冷えた格納庫の中で作業される整備士の皆さんには感服するばかりであった。飛行機の燃料が両翼に補填されていることは初耳であり、実際にそのような多くの燃料を翼なんかにつめるのかな？とっていたが実物の翼は本当に大きく、燃料の説明に納得した。滑走路の目の前まで出た時は運良くスターフライヤーが飛び立っており、個人的には嬉しかった。広い格納庫内は三輪自転車で移動するというのもユニークだった。
- ・格納庫からの夜景が美しく、飛行機の離発着も間近でみることでたいへんおもしろかったです。引率の方に、素朴な疑問にも丁寧に答えていただき飛行機についての理解を深めることができました。翼の左右両端で色が異なっていることなど知らないことばかりでした。
- ・飛行機の整備を行う場所をみて、そのスケールの大きさに圧倒された。また大きな飛行機の整備を行うための施設を見て、大掛かりな施設の必要性を痛感し、今まで知ることのなかった飛行機運航の裏側を知ることが出来てよかった。
- ・とても有意義だった。格納庫に入ることなどめったにできないことではないのでとてもいい思い出になりました。
- ・飛行機は近くで見るとやはり大きく大迫力で、純粋に感動しました。特に大きい飛行機が立ち寄っていたことも、本当に幸運だったと思います。想像していたより多くの作業員の方がまさに整備にかかっておられるところを見て、入念に安全が点検されていることが分かりました。たくさんの飛行機に関する豆？知識を同時に教えていただき、本当に学びの多い時間でした。
- ・飛行機は最も安全な乗り物であるという話を聞いたことがあるが、実際の整備現場の様子や担当の方のお話から、実際に利用者側からの目線では気づかないような様々な場面で安全第一の配慮がなされていることがよくわかった。
- ・本当にいい経験だった。あんなに近くで飛行機を見るのも初めてだったし、改めて興味深いことを多く教えていただき、非常に勉強になった。
- ・たまたま最大サイズの飛行機が来ているというのは非常にラッキーであった。実際に作業している様子を見ながら説明を受けられたのは非常に良かったが、広報の方だけでなく整備士の方にも話を伺いたかった。
- ・KLMオランダ航空の格納庫に以前訪問したことがあるのですが、その時よりも大きな飛行機を見ることができ、とても感動しました。また、整備をする過程も見ることができてよかったです。
- ・普段は見ることのできない格納庫の中の飛行機を見ることができ、非常に貴重な機会でした。視察した日はさほどではありませんでしたが、寒い日や暑い日には大変な環境で働いていらっしゃるのだということを知ることができました。
- ・飛行機の整備場という普段見ることのできない裏側を見学することができたことに感動した。偶然にも、特に大きいタイプの飛行機が格納庫に入っており、とても迫力があつた。